

平成31年2月5日（火）  
国土交通省関東地方整備局  
利根川水系砂防事務所

## 記者発表資料

### 新たに「新技術活用実績表彰制度」を創設します

利根川水系砂防事務所では、施工現場での新技術活用による生産性向上を図る取り組みをより一層推進することを目的として、新たに表彰制度を創設します。

この表彰制度は、当事務所所管の工事に関し、生産性向上に資する新技術の活用に関する取り組みが優れた工事を表彰するものです。

表彰は平成31年度から実施し、表彰対象となる工事は表彰の前年度に完成した工事となります。

また、表彰受賞者は、当事務所が発注する総合評価落札方式による工事の入札契約手続きにおきまして、技術力評価が優位となります。

◆新技術情報提供システム（NETIS）の登録技術は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/Explanation/MainExplanation.asp>

#### 記者発表クラブ

竹芝記者クラブ  
神奈川建設記者会  
長野県庁会見場  
佐久記者クラブ

刀水クラブ（群馬県）  
テレビ記者会（群馬県）  
渋川記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局  
利根川水系砂防事務所  
住所：群馬県渋川市渋川121-1  
電話：0279-22-4177（代）  
FAX：0279-22-4791  
副所長（技） 杵淵 新一（きねぶち しんいち）  
品質確保課長 吉澤 拓実（よしざわ たくみ）

# 利根川水系砂防事務所 新技術活用実績表彰制度について

## 1. 目的

施工者による、建設生産システム全体の生産性向上への取り組みをより一層増進させることを目的とし、新技術を活用した生産性向上への取り組みが優秀であり、かつ他の模範となる工事を「新技術活用実績表彰工事」として表彰します。

## 2. 選定の方法

表彰の対象となります「新技術活用実績表彰工事」は、利根川水系砂防事務所新技術活用実績表彰工事選定委員会において審査を行い、選定されます。

## 3. 選定方針

- 1) 表彰の前年度に完成した利根川水系砂防事務所発注工事であること。
- 2) 当該工事の成績が優秀であること。
- 3) 新技術を活用した生産性向上への取り組みが優秀であり、かつ他の模範となる工事であること。

## 4. その他

- 1) 表彰は平成31年度から実施します。
- 2) 表彰受賞者は、当事務所が発注する総合評価落札方式による工事の入札契約手続きにおきまして、技術力の評価が優位になります。

(取組事例)

工程	課題	新技術導入の視点
準備	環境負荷の発生により、地域社会からの苦情が発生、調整と対策が必要となり、現場が停滞	環境負荷低減可能な工法採用により、現場停滞を回避（騒音振動、粉塵の発生、有害物質、自然保全等）
安全	工事事故の発生により、検証、対策検討が必要となり、現場が停滞	安全確保の高度化により、現場停滞を回避（架空線切断、接触事故等）
盗難	現場の盗難により、資機材の再調達が必要となり、現場が停滞	盗難防止の強化により、現場の停滞を回避（現場管理の徹底）
施工 (工程管理)	作業員の確保が出来ず作業が遅れ、週休2日制が実施できない	工期を短縮可能な工法採用により、週休2日制を実現（省力化、工期短縮）
施工 (施工管理)	施工不良により機能障害が発生、修補が必要になり、現場が停滞	施工を確実にし、品質を向上させる資材を採用して、現場停滞を回避（施工の確実性）
施工 (品質管理)	品質管理を怠ったことにより、やり直し施工が生じ、現場が停滞	品質管理を簡素化また省力化することにより、人為的ミスを低減し、現場停滞を回避（品質管理の簡素化）